

# 平成28年度第1回「まちかどコメンテーター」アンケート調査結果

## まちかどコメンテーターの概要

### (1) まちかどコメンテーターとは

市民の皆様「まちかどコメンテーター」になってもらい、その方々から市民目線の意見・提言を聴取するとともに、市民のニーズを把握し、市政運営の参考とさせていただくものです。  
また、アンケートを通じて、市民の皆様の市政への関心・興味を深めることも目的としています。

### (2) まちかどコメンテーターの選定方法

住民基本台帳から無作為抽出した市民2,000人にまちかどコメンテーターへの就任を依頼し承諾いただいた方と、一般公募から構成されています。

### (3) 任期

平成27年7月1日～平成29年6月30日

### (4) 人数

222人（男性111人、女性111人）

### (5) 所管課

市民局 市民文化部 市民協働課

## 今回のアンケートの概要

テーマ (担当課)	グリーン・ツーリズムについて	(観光交流局 グリーンツーリズム推進課)
	野菜の摂取増と減塩の取組について	(健康福祉局 保健予防課)
	セーフコミュニティについて	(市民局 安心安全課)
調査期間	平成28年4月15日～5月9日	
送付数	222人	
回答率	72.5% (161人)	

(注) 構成比は小数点第2位以下を四捨五入して表示しているため、合計が合わない場合があります。

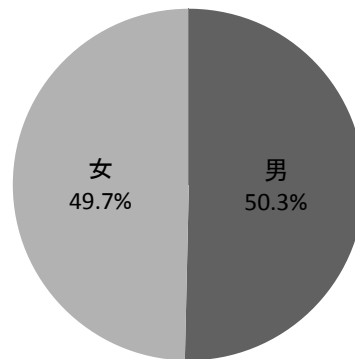
(注) 複数回答可の質問の構成比の合計は100%を超えることがあります。

(注) 自由記入の回答は、主な意見のみを記載しています。全文は市ホームページで公開しています。

## 回答者の構成

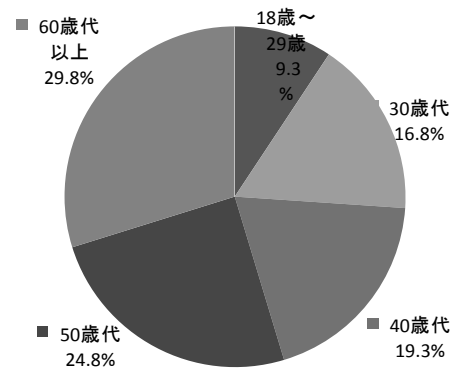
問1. 性別を選択してください。

選択肢	回答数	構成比
男	81	50.3%
女	80	49.7%
無回答	0	0.0%
合計	161	100.0%



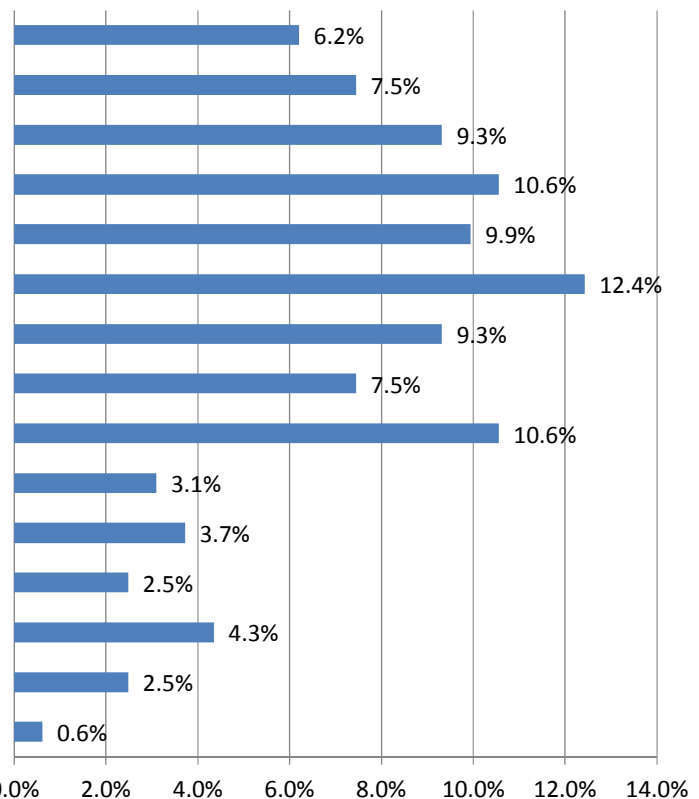
問2. 年代を選択してください。

選択肢	回答数	構成比
18歳～29歳	15	9.3%
30歳代	27	16.8%
40歳代	31	19.3%
50歳代	40	24.8%
60歳代以上	48	29.8%
無回答	0	0.0%
合計	161	100.0%



問3. 町名を記入してください。※ご記入いただいた町名を元に集計しています。

地域	回答数	構成比
中央地区	10	6.2%
上町地区	12	7.5%
鴨池地区	15	9.3%
城西地区	17	10.6%
武・田上地区	16	9.9%
谷山北部地区	20	12.4%
谷山地区	15	9.3%
伊敷地域	12	7.5%
吉野地域	17	10.6%
桜島地域	5	3.1%
吉田地域	6	3.7%
喜入地域	4	2.5%
松元地域	7	4.3%
郡山地域	4	2.5%
不明	1	0.6%
合計	161	100.0%



## グリーン・ツーリズムについて

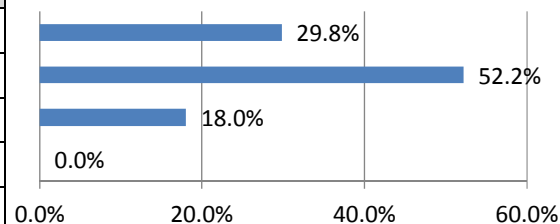
### 【調査の目的】

本市では、農作業や収穫体験、農業まつりなど、農村地域の自然、文化、人々との交流を楽しむグリーン・ツーリズムの推進に向けて「鹿児島市グリーン・ツーリズム推進計画」（期間：平成24年度から28年度まで）に基づき、さまざまな取り組みを進めています。今回は、29年度以降の第2期計画の策定にあたり、グリーン・ツーリズムのニーズ等を把握し、計画づくりの参考とするため、アンケートを実施しました。

### 【調査結果】

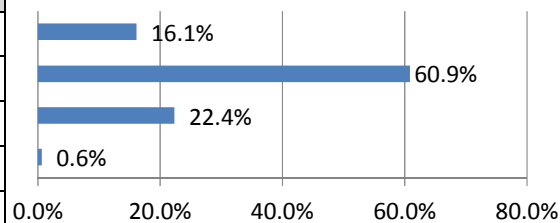
#### 問4. グリーン・ツーリズムという言葉を知っていますか？

選択肢	回答数	構成比
聞いたことがない	48	29.8%
聞いたことはあったが、内容はほとんど知らない	84	52.2%
内容についても概略知っている	29	18.0%
無回答	0	0.0%
合計	161	100.0%



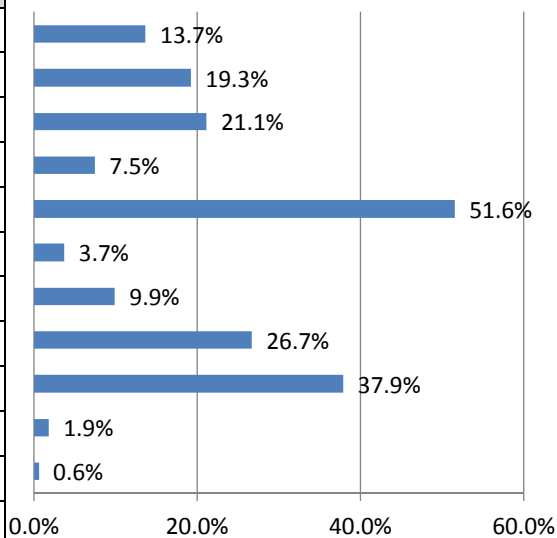
#### 問5. 休日に農山漁村（田舎）に行ってみたいと思いますか？

選択肢	回答数	構成比
よく思う	26	16.1%
ときどき思う	98	60.9%
思わない	36	22.4%
無回答	1	0.6%
合計	161	100.0%



#### 問6. 次のグリーン・ツーリズムのイベント等に、今まで参加したことがありますか？（注）イベントや学校教育の一環での農作業体験等を含めますが、実家での稲刈りの手伝いなどの自宅や親戚関係における参加は除いてお答えください。（複数回答可）（N=161人）

選択肢	回答数	構成比
農作業体験（田植え、稲刈り等）	22	13.7%
収穫体験（果物や野菜等）	31	19.3%
自然体験（自然散策等）	34	21.1%
市民農園での野菜などの栽培	12	7.5%
農産物直売所での買い物	83	51.6%
農家民宿での宿泊	6	3.7%
そばうちなど郷土料理づくり体験	16	9.9%
農業まつり（収穫祭等）	43	26.7%
参加したことがない	61	37.9%
その他	3	1.9%
無回答	1	0.6%
合計	312	



#### 問6. その他の主な意見

- ・主人の実家が田舎なのでそれなりにしている
- ・鹿児島市以外の徳之島でのイベントに参加

問7. 問6で「9. 参加したことがない」以外を選択された方にお聞きします。今まで参加した鹿児島市内のグリーン・ツーリズムのイベント等で良かったものがあれば、そのイベント名と理由を教えてください。

・吉田地区の野菜収穫体験と料理教室。鹿児島市にも素晴らしい自然（トンボやメダカが存在）があることに感動した。

・都市農業センターでの樹木の育成講座。農業関係は全く知識がなく初めて体験しその後、自宅で栽培（野菜や果物など）しております。

・都市農業センターで農業まつり。特産品の美味しさがよくわかった。

・JA主催のバーベキュー。野菜を収穫し、その野菜とお肉でバーベキューをしました。子供達が収穫した野菜を自分達で調理し食べたので、とても楽しかったようでした。

問8. 問6で「9. 参加したことがない」以外を選択された方にお聞きします。今まで参加した鹿児島市内のグリーン・ツーリズムのイベント等で不満だったものがあれば、そのイベント名と理由を教えてください。

・野草をとって料理するというイベント。何回聞いても地図を見ても集合場所に行き着けず、途中であきらめて帰りました。

・特にない。行きや広告などで魅力を感じれば行く感じなので、あまり行った所の不満はない。

問9. 問6で「9. 参加したことがない」以外を選択された方にお聞きします。今まで鹿児島市内のグリーン・ツーリズムのイベント等で参加したことがあるイベント等の名称を教えてください。

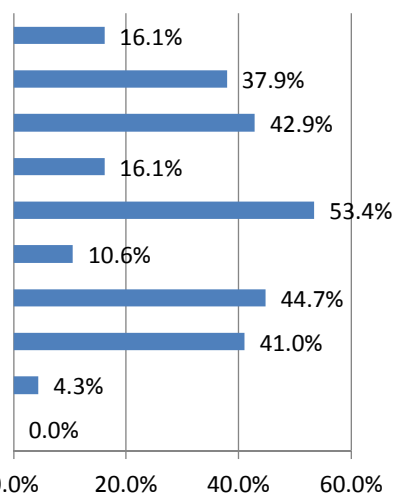
・吉田、郡山、松元、喜入の農業祭

・八重棚田収穫祭                      ・都市農村交流センターお茶の里1周年記念

・都市農業センターの農業まつり                      ・グリーンファームの野菜の収穫

問10. 次のグリーン・ツーリズムのイベント等で、どれに参加したいですか？（複数回答可）（N=161人）

選択肢	回答数	構成比
農作業体験（田植え、稲刈り等）	26	16.1%
収穫体験（果物や野菜等）	61	37.9%
自然体験（自然散策等）	69	42.9%
市民農園での野菜などの栽培	26	16.1%
農産物直売所での買い物	86	53.4%
農家民宿での宿泊	17	10.6%
そばうちなど郷土料理づくり体験	72	44.7%
農業まつり（収穫祭等）	66	41.0%
その他	7	4.3%
無回答	0	0.0%
合計	430	

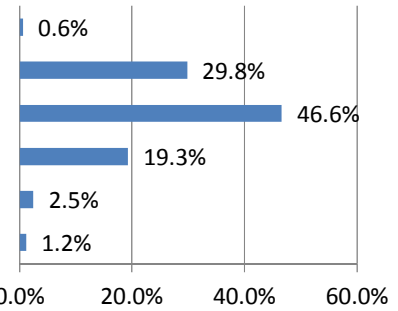


問10. その他の主な意見

・収穫野菜を使っの料理教室                      ・親子でフラワーアレンジメントがしたいです。

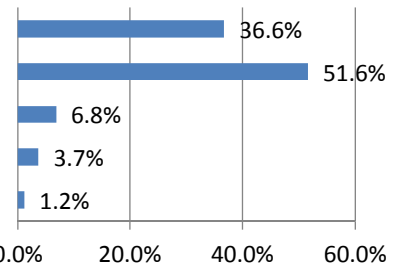
問11. 自家用車で自宅からどのくらいの時間だったらグリーン・ツーリズムのイベント等に参加したいと思いますか？

選択肢	回答数	構成比
10分以内	1	0.6%
30分以内	48	29.8%
1時間以内	75	46.6%
1時間以上でも構わない	31	19.3%
自家用車を使わないのでわからない	4	2.5%
無回答	2	1.2%
合計	161	100.0%



問12. 半日の稲刈りの体験イベント（食事・お土産なし）の参加料（1名あたり）はいくらくらいが妥当だと思いますか？

選択肢	回答数	構成比
500円以内	59	36.6%
1,000円以内	83	51.6%
1,000円以上	11	6.8%
その他	6	3.7%
無回答	2	1.2%
合計	161	100.0%

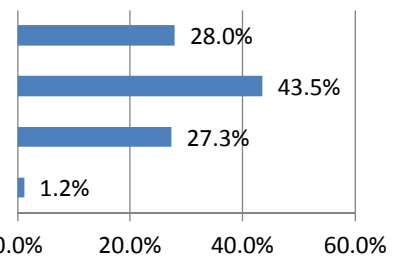


問12. その他の主な意見

- ・金額の中身ではなく内容に魅力が引かれるかどうかと。
- ・無料であれば人が集まると思う。

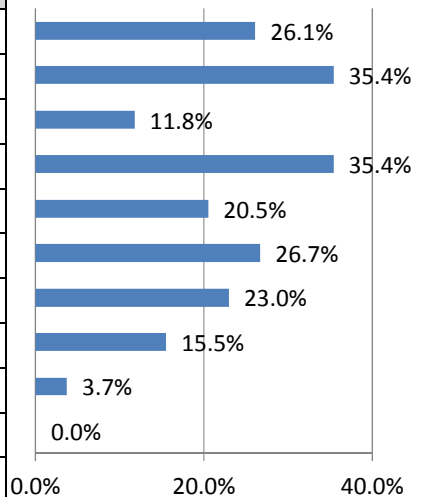
問13. 喜入一倉町にある「グリーンファーム（鹿児島市観光農業公園）」（以下「グリーンファーム」といいます）を知っていますか？

選択肢	回答数	構成比
よく知っている	45	28.0%
聞いたことがある程度	70	43.5%
全く知らない	44	27.3%
無回答	2	1.2%
合計	161	100.0%



問14. グリーンファームでどのような体験をしてみたいですか？（複数回答可）（N=161人）

選択肢	回答数	構成比
野菜の収穫体験	42	26.1%
果物の収穫体験	57	35.4%
野菜の植付け体験	19	11.8%
パン・お菓子・郷土料理・ウイナー作りなどの農産物加工体験	57	35.4%
キャンドルづくりや木工クラフトなどの工作体験	33	20.5%
そばうちなどの郷土料理づくり体験	43	26.7%
里山散策・ネイチャーゲーム・野外調理などの自然体験	37	23.0%
トラクターなど農機具の操作体験	25	15.5%
その他	6	3.7%
無回答	0	0.0%
合計	319	

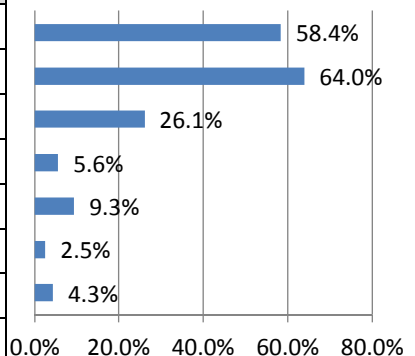


問14. その他の主な意見

- ・とにかく土に触れさせたい。植え付けから収穫まで一貫性を魅せたい。家でさせられないことをさせたい。

問15. グリーンファームの農園レストランでどんな料理が食べたいですか？（複数回答可）（N=161人）

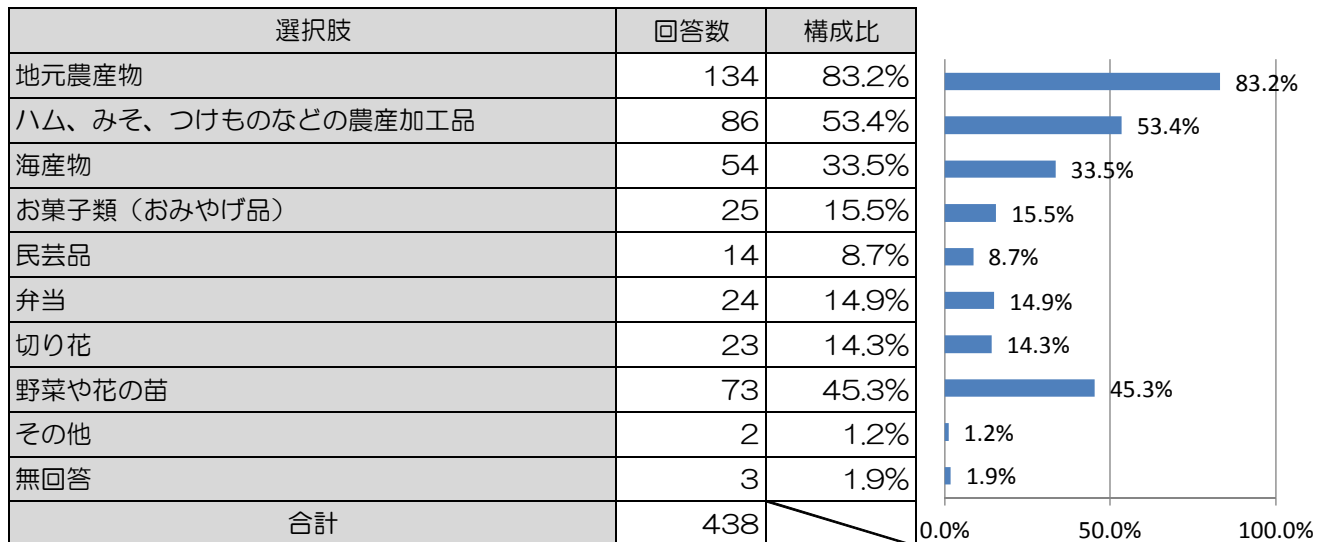
選択肢	回答数	構成比
喜入地域の新鮮野菜を使った料理	94	58.4%
鹿児島県内の特産物を使った料理	103	64.0%
うどんやそばなどの軽食	42	26.1%
洋食や中華料理	9	5.6%
和食	15	9.3%
その他	4	2.5%
無回答	7	4.3%
合計	274	



問15. その他の主な意見

- ・園内で生産した野菜を使ったバーベキューなど。
- ・収穫時期にそれを入れた新鮮野菜の旬の料理。

問16. グリーンファームの農産物直売所で何を買いたいですか？（複数回答可）（N=161人）



問16. その他の主な意見

- ・家で家庭菜園をしているが新しい情報誌。（農薬、農具）野菜を育て、収穫するまでのテキスト。実践するのに必要な農具など。

問17. 本市のグリーン・ツーリズムについて、どのようなことでも構いませんので、自由にご記入ください。

（主な意見）

- ・環境未来館に行くようになって、初めてグリーンツーリズムという言葉を知った。しかし、今まで意味を知る機会はなかった。自分は英語がきれいな方ではないので、理解しようという気持ちはあるが、英語の名称ばかりが増えると、親しみを持ってないという人もいるのでは。

- ・あまり知られていない感じがするのでもっと告知すべき。

- ・自然に触れ合うことが社会人になってから減ったので若い人でもいける野菜、果物の収穫体験ができるイベントを増やしてほしいです。

- ・グリーンファームは遠いですが、楽しいので数か月に一度家族で出かけています。農業まつりもバスがファーム内を走っていたりして、広いけど不便ではないなと思いました。まだまだ体験コーナーを知らない人がたくさんいると思うので、チラシの表紙などにそういう場面の写真を使ってもいいと思う。

- ・農業の体験には興味があるが気軽に参加できる機会がないような気がする。パンフレットなど配って大人向けのイベントがあるといいなと思う。

- ・企画としては以前から興味があり、時間があればいきたいなあと考えていました。認知度に関しては低いと思います。公共の施設にはよくパンフレットおいてあってよく見かけますが、伝わりがやすいです。この企画に参加することで何を得られるのかをもっと具体的に訴えてみたらと思います。

【テーマ担当課（グリーンツーリズム推進課）からのコメント】

グリーン・ツーリズムという言葉について、「聞いたことがない」と「内容を知らない」が合計で82%、グリーンファームについては「知らない」「聞いたことがある程度」が合計で70.8%に上っており、まだまだグリーン・ツーリズムやグリーンファームに対する認知が進んでいないことがわかりました。

一方で、休日に農山漁村に行ってみたいと答えた方は、「よく思う」「ときどき思う」を合わせて77%に上っており、グリーン・ツーリズムに対するある程度のニーズはあるものと考えられます。

本市では、ホームページや、フェイスブック、LINEのSNS、ガイドブックや季刊紙などの紙媒体等、さまざまな手段でグリーン・ツーリズム及びグリーンファームの周知広報に努めているところですが、自由意見の中に、「認知度が低いのもっと告知すべき」、「どのようなイベントがあるのか広報の仕方も考えてほしい」など、広報の不足を指摘の意見が多数ありましたので、効果的な周知広報の方法について、これまで以上に留意して取り組んでまいりたいと考えております。

今回の調査結果を活用して、本市グリーン・ツーリズム及びグリーンファームの交流体験メニューについてさらなる充実にも努めるとともに、市民の皆さまをはじめ、県内外の多くの方に効果的に情報を発信してまいります。



## 野菜の摂取増と減塩の取組について

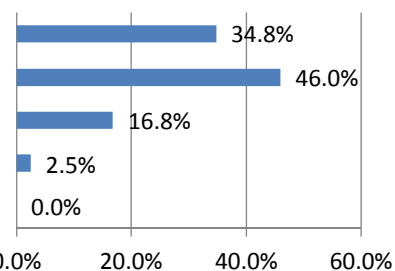
### 【調査の目的】

鹿児島市民（20歳以上、平成24年国民健康・栄養調査）の野菜摂取量は286.8g、食塩摂取量は10.1gであり、本市の健康増進計画「かごしま市民すこやかプラン」のそれぞれの目標量より、野菜は70g少なく、食塩は2g多い状況でした。食事をバランスよく食べることは、健康増進や生活習慣病の予防のために大切です。今回、市民の皆さんの野菜や食塩の摂取についての現状などを把握し、今後の事業推進の参考とするためにアンケートを実施しました。

### 【調査結果】

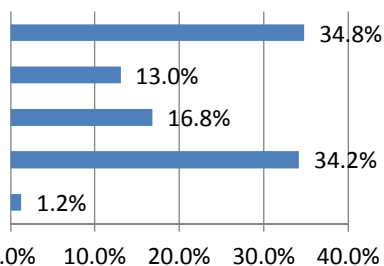
問18. あなたは、健康づくりのために、ご自分の食生活について気を付けていますか。

選択肢	回答数	構成比
気を付けている	56	34.8%
どちらかという気を付けている	74	46.0%
聞いたことはある	27	16.8%
知らない	4	2.5%
無回答	0	0.0%
合計	161	100.0%



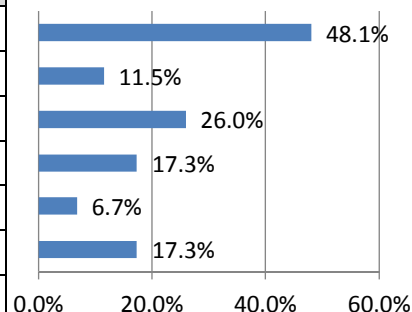
問19. 国は健康づくりの目標として、成人の1日あたりの野菜摂取目標量を350g以上、食塩摂取目標量を8g未満としています。このことをご存知ですか。（注）食塩摂取目標量とは、食塩だけでなく、調味料や食品に含まれる食塩に相当する量の目標量のこと。

選択肢	回答数	構成比
野菜摂取目標量・食塩摂取目標量の両方とも知っていた	56	34.8%
野菜摂取目標量のこと知っていた	21	13.0%
食塩摂取目標量のこと知っていた	27	16.8%
どちらとも知らなかった	55	34.2%
無回答	2	1.2%
合計	161	100.0%



問20. 問19で「4. どちらとも知らなかった」以外を選んだ方にお聞きします。野菜摂取目標量または食塩摂取目標量のことをどこで知りましたか。（複数回答可）（N=104人）

選択肢	回答数	構成比
新聞・テレビ・インターネットなどのメディアから	50	48.1%
健康まつり、食育フェスタなどのイベントでの広報から	12	11.5%
病院などの医療スタッフ（栄養士・看護師など）から	27	26.0%
保健センターなどの健康づくり関連講座や健康相談から	18	17.3%
その他	7	6.7%
無回答	18	17.3%
合計	132	



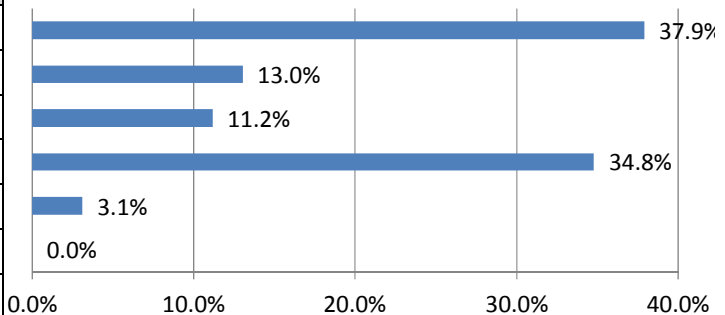
問20. その他の主な意見

- ・病院等で行う食育の講演会等
- ・ジュース、その他の食品に記載してある物から



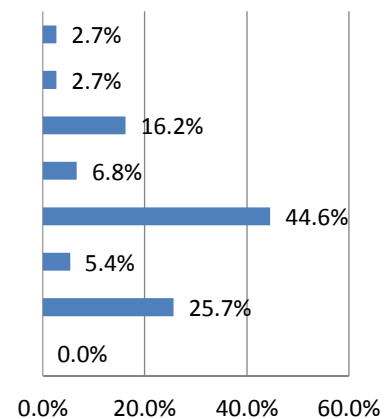
問21. あなたは朝食で野菜（野菜ジュースは含みません）を食べますか。

選択肢	回答数	構成比
ほとんど毎日食べる	61	37.9%
週に4～5回食べる	21	13.0%
週に2～3回食べる	18	11.2%
ほとんど食べない	56	34.8%
朝食を食べる習慣がない	5	3.1%
無回答	0	0.0%
合計	161	100.0%



問22. 問21で「3. 週に2～3回食べる」「4. ほとんど食べない」を選んだ方にお聞きします。あなたが朝食で野菜を食べない理由は何ですか。（複数回答可）（N=74人）

選択肢	回答数	構成比
野菜を食べることに関心がないから	2	2.7%
野菜を食べる必要性を感じていないから	2	2.7%
野菜料理が面倒だから	12	16.2%
調理法がよく分からないから	5	6.8%
時間がないから	33	44.6%
野菜が好きでないから	4	5.4%
その他	19	25.7%
無回答	0	0.0%
合計	77	

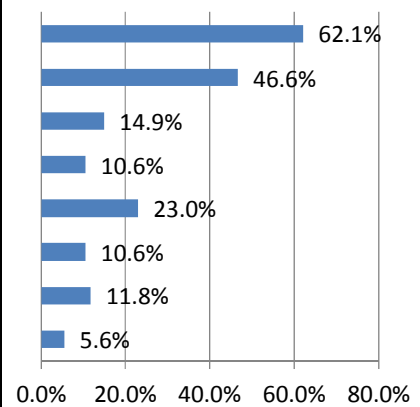


問22. その他の主な意見

- ・昼と夜の料理で考えているから。・朝ごはんをしっかりとつくる時間がないのでお弁当の残りになってしまう。

問23. 国民健康・栄養調査によると、成人1日あたりの野菜の平均摂取量は毎年280g前後で推移しています。目標とする350gまで摂取量が増えない理由として、どのようなものがあると思いますか。（注）国民健康・栄養調査は、国が毎年実施している、国民の栄養摂取状況等を把握する調査。（複数回答可）（N=161人）

選択肢	回答数	構成比
野菜の350gの量が分からないから	100	62.1%
自分が食べている量が分からないから	75	46.6%
野菜を食べることに関心がないから	24	14.9%
野菜を食べる必要性を感じていないから	17	10.6%
野菜料理が面倒だから	37	23.0%
調理法がよく分からないから	17	10.6%
その他	19	11.8%
無回答	9	5.6%
合計	298	

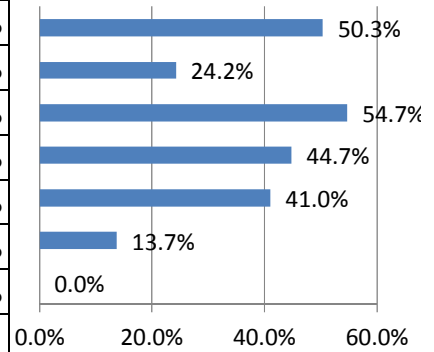


問23. その他の主な意見

- ・料理を自分で作らないから
- ・時期によっては高価なので350gを毎日は難しい。

問24. 市民の皆さんにもっと野菜を食べてもらうには、どのような取組が必要だと思いますか。（複数回答可）（N=161人）

選択肢	回答数	構成比
野菜を食べることの大切さについての広報	81	50.3%
料理教室などの健康づくり講座の充実	39	24.2%
野菜を使った料理（レシピ）の紹介	88	54.7%
スーパーなどでの野菜を主とした惣菜や弁当の充実	72	44.7%
野菜をたっぷり使ったメニューを提供する飲食店の増加	66	41.0%
その他	22	13.7%
無回答	0	0.0%
合計	368	

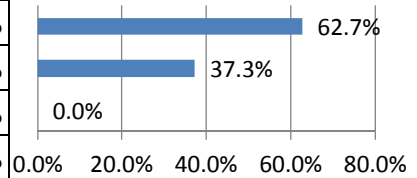


問24. その他の主な意見

- ・簡易的な調理方法を表示すれば野菜を買うかも
- ・外食やお弁当は野菜が少ないイメージなので自宅で自分で料理することが大切だと思います。

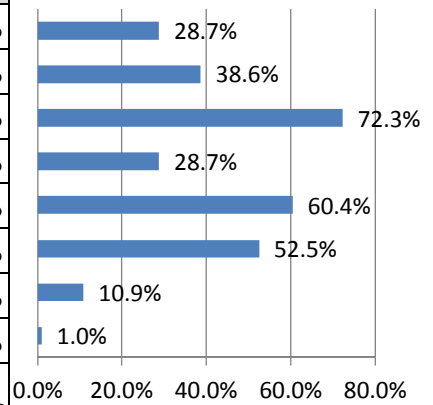
問25. あなたは、日頃の食事で減塩に取り組んでいますか。

選択肢	回答数	構成比
減塩に取り組んでいる	101	62.7%
減塩に取り組んでいない	60	37.3%
無回答	0	0.0%
合計	161	100.0%



問26. 問25で「1. 減塩に取り組んでいる」を選んだ方にお聞きします。どのような減塩に取り組んでいますか。（複数回答可）（N=101人）

選択肢	回答数	構成比
調味料（塩、しょうゆ、ソース、みそなど）の量を計量している	29	28.7%
減塩食品を利用している	39	38.6%
麺類の汁を残すようにしている	73	72.3%
1日に食べる汁物の回数を1～2回にしている	29	28.7%
調味料（塩、しょうゆ、ソース、みそなど）の使い方を工夫している	61	60.4%
漬物、練製品、干物などの加工食品を食べる頻度を減らしている	53	52.5%
その他	11	10.9%
無回答	1	1.0%
合計	296	

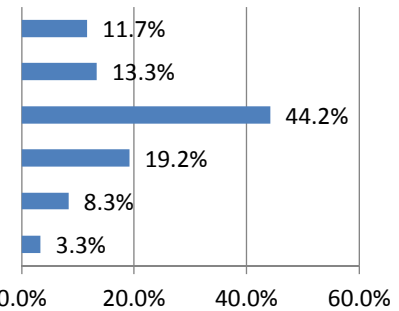


問26. その他の主な意見

- ・だしの味や食材そのものの味で食べている。
- ・テーブルに調味料をおかないで食事をする。

問27. 問25で「2. 減塩に取り組んでいない」を選んだ方にお聞きます。減塩に取り組んでいない理由は何ですか。(N=60人)

選択肢	回答数	構成比
減塩に関心がないから	7	11.7%
減塩の必要性を感じていないから	8	13.3%
減塩が必要とは思っているが、実践が難しいから	26.5	44.2%
減塩を実践しようと思っているが、減塩方法が分からないから	11.5	19.2%
その他	5	8.3%
無回答	2	3.3%
合計	60	100.0%

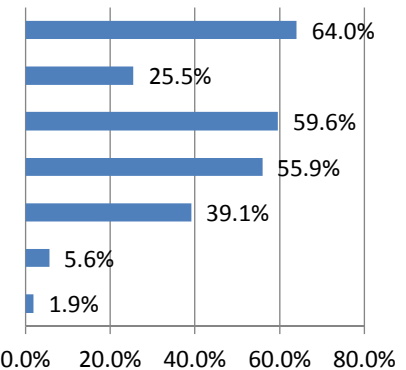


問27. その他の主な意見

- ・現状が多いのか少ないのか分からないから
- ・塩味が効くと食欲が出るから

問28. 減塩を市民のみなさんに普及するために、どのような取組が必要だと思いますか。(複数回答可)(N=161人)

選択肢	回答数	構成比
減塩の大切さについての広報	103	64.0%
料理教室などの健康づくり講座の充実	41	25.5%
減塩料理(レシピ)の紹介	96	59.6%
スーパーなどでの減塩食品や減塩惣菜、減塩弁当の充実	90	55.9%
減塩メニューを提供する飲食店の増加	63	39.1%
その他	9	5.6%
無回答	3	1.9%
合計	405	

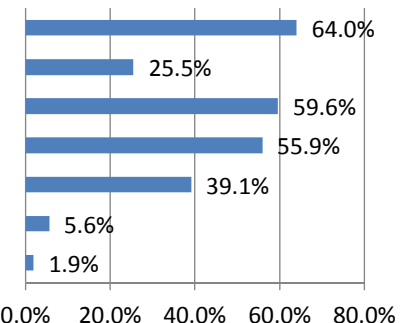


問28. その他の主な意見

- ・減塩しなかった場合の病気などのリスクを知らせる。
- ・減塩でも美味しい調味料

問29. 野菜摂取量の増加、減塩の取組を広報する手段として何が有効だと思いますか。(複数回答可)(N=161人)

選択肢	回答数	構成比
市民のひろば・ホームページなどでの広報	77	47.8%
イベントなどでの広報	68	42.2%
食品販売店内などでの広報	95	59.0%
新聞・テレビなどでの広報	103	64.0%
その他	8	5.0%
無回答	3	1.9%
合計	354	



問29. その他の主な意見

- ・食品表示が小さいので分かりやすく
- ・イベント等で試食やレシピを配る。減塩でも美味しいと知ってもらう。

問30. 野菜の摂取量の増加、減塩に向けた取組について、どのようなことでも構いませんので、自由にご記入ください。

(主な意見)

・朝は時間が無い為野菜を十分に朝食に取り入れることができません。その為、できるだけ夕食で野菜を取り入れるよう心掛けています。減塩に関しては朝食の味噌汁の出汁、味噌の割合に気を付けています。出汁の味を効かせると味噌の量も少し抑えることができます。

・塩分は最近の食品にはかなり含まれていて自分では意識がないまま多くの塩分をとってしまっていると思います。加工品にどれぐらいの塩分が含まれているかを知ることが大切だと思う。糖分だとよく角砂糖何個分だとかの表示を目にすることがありますが。

・野菜は天候によって値段が大きく変わるし、量を摂るのは難しいと感じるので野菜摂取の為に手軽にできる工夫があれば知りたいです。地産地消につながれば更に良いと思います。

・年齢や一日の塩分必要量は人によって違うと思います。数種類の中から自分に合った量を選んで取り組む必要があると思います、減らせばよいとは思いません。

・講座も良いかと思いますが、よく行かれる方はいつも参加しているようですがなかなか出掛けてまではと思う人が多いのでは？新聞や市民のひろば等で具体的なメニューなど教えてもらったら作ってみようかなと思う人が多いのでは。「この食材はこんな使い方もある」とか「この野菜でも充分美味しい」とかこのメニューでは「これ」と決めないで代用の食材を何点か付け加えるといいのでは。

・月に1日でも、野菜の摂取や減塩推進月間を設ければ、少しずつでも、野菜や減塩を意識した食事が広まってくると思います。

・鹿児島味の付けはかなり濃いと思います。一人一人の自覚が相当必要です。

#### 【テーマ担当課（保健予防課）からのコメント】

健康づくりのための食生活について80.8%の方が「気を付けている」「どちらかという気を付けている」と回答されているのに対し、野菜や食塩の摂取目標量について「両方とも知っていた」と回答された方が34.8%であり、また、その周知手段についてはメディアからが一番多く、イベントや健康講座・健康相談からは少ないことから、食生活に関する広報周知に課題があることが分かりました。

野菜摂取量については、朝食で野菜を「ほとんど毎日食べる」と回答された方と、「ほとんど食べない」「朝食を食べる習慣がない」と回答された方が、同率の37.9%であったこと、また、野菜を食べない理由が「時間が無いから」が一番多かったことが分かりました。

減塩については、「取り組んでいる」と回答された方の取組内容と、「取り組んでいない」と回答された方の理由を知ること、実践に結びつく調理法や献立の紹介と、減塩に取り組むきっかけとなるような広報が必要であることが分かりました。

今回の調査結果を、今後の野菜の摂取増と減塩の普及啓発に活用し、市民の皆さまの意見を反映したイベントや広報の充実と、実践しやすい健康づくりのための取組を行っていきたいと考えております。

## セーフコミュニティについて

### 【調査の目的】

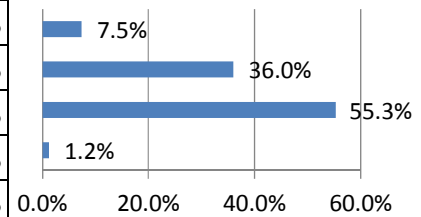
本市では、世界基準の安心安全都市を目指して、WHO（世界保健機関）が推奨する「セーフコミュニティ」の取り組みを進めており、平成28年1月29日に、セーフコミュニティの国際認証を取得しました。これまでモデル地区等を中心に取り組んでいましたが、国際認証取得を機に、この取組を全市に拡大していくこととしています。

今回は、この取組を全市に拡げ、効果的に継続していくため、セーフコミュニティの認知度や市民の皆さんの安全向上についての考え方について、アンケートを実施しました。

### 【調査結果】

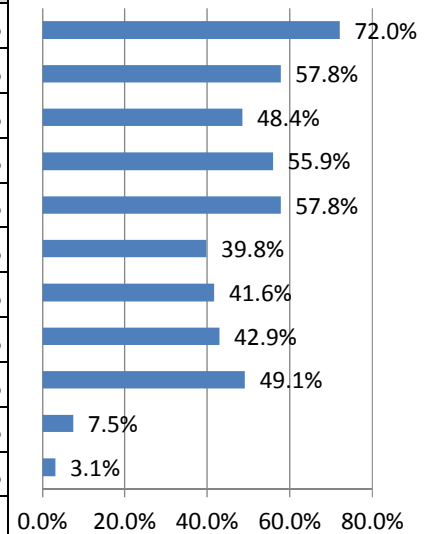
問31. あなたは、「セーフコミュニティ」について知っていますか。

選択肢	回答数	構成比
内容も含めて知っている	12	7.5%
聞いた（見た）ことはあるが、内容は知らない	58	36.0%
知らない	89	55.3%
無回答	2	1.2%
合計	161	100.0%



問32. セーフコミュニティでは、鹿児島市の事故やけがの状況を分析し、7つの分野で取り組みを進めていますが、あなたが事故やけがを予防するために重要であると考える取り組みはどれですか。（複数回答可）（N=161人）

選択肢	回答数	構成比
交通事故の減少のための取組（交通安全教室や啓発）	116	72.0%
小学校や中学校での事故やけがを予防する取組	93	57.8%
家庭内での子どもの事故やけがを予防する取組	78	48.4%
子どもへの虐待を防止する取組	90	55.9%
高齢者の転倒を予防する取組	93	57.8%
高齢者の虐待を防止する取組	64	39.8%
DVを防止する取組	67	41.6%
自殺を予防する取組	69	42.9%
桜島大噴火を想定した避難体制の再構築や防災訓練に関する取組	79	49.1%
その他	12	7.5%
無回答	5	3.1%
合計	766	

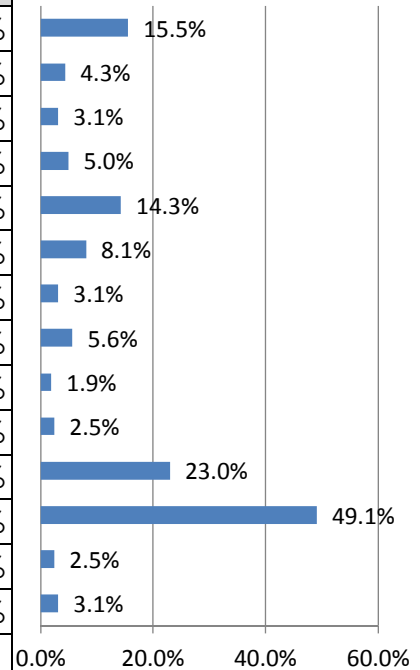


問32. その他の主な意見

- ・見て見ぬふりをせず、地域全体で助け合う
- ・道路などの危険区域の整備、地震時の避難訓練の実施

問33. あなたが過去1年間（平成27年4月から平成28年3月まで）に実際に参加（実践）したことがあるものはどれですか。（複数回答可）（N=161人）

選択肢	回答数	構成比
交通安全教室	25	15.5%
家庭内での乳幼児の事故やけがを予防する取組	7	4.3%
子どもの交通事故防止やけがの予防のために保護者を対象に行われる講演会、学習会への参加	5	3.1%
高齢者の転倒予防の運動教室や料理講習会	8	5.0%
認知症への理解を深める講習会や講演会	23	14.3%
高齢者の見守り活動	13	8.1%
若年者向けのDV防止講演会等への参加	5	3.1%
自殺予防やメンタルヘルス講演会への参加	9	5.6%
ゲートキーパーを養成する講座への参加	3	1.9%
避難行動要支援者への避難支援	4	2.5%
災害等の避難訓練への参加	37	23.0%
参加（実践）したことがない	79	49.1%
その他	4	2.5%
無回答	5	3.1%
合計	227	

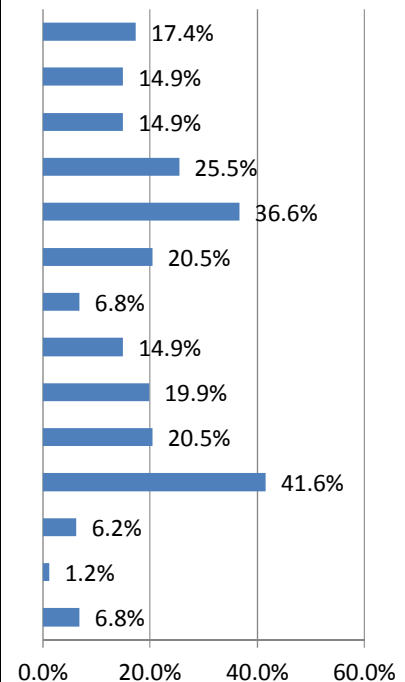


問33. その他の主な意見

- ・ AED講習会
- ・ 消防訓練への参加

問34. あなたが今後参加したい、実践したいと思うものはどれですか。（複数回答可）（N=161人）

選択肢	回答数	構成比
交通安全教室	28	17.4%
家庭内での乳幼児の事故やけがを予防する取組	24	14.9%
子どもの交通事故防止やけがの予防のために保護者を対象に行われる講演会、学習会への参加	24	14.9%
高齢者の転倒予防の運動教室や料理講習会	41	25.5%
認知症への理解を深める講習会や講演会	59	36.6%
高齢者の見守り活動	33	20.5%
若年者向けのDV防止講演会等への参加	11	6.8%
自殺予防やメンタルヘルス講演会への参加	24	14.9%
ゲートキーパーを養成する講座への参加	32	19.9%
避難行動要支援者への避難支援	33	20.5%
災害等の避難訓練への参加	67	41.6%
参加実践したいと思わない	10	6.2%
その他	2	1.2%
無回答	11	6.8%
合計	399	

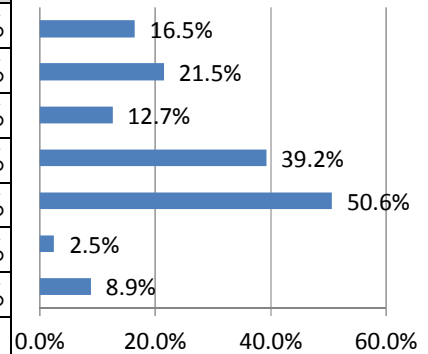


問34. その他の主な意見

- ・ 参加する機会が無い

問35. 問33で「12.参加（実践）したことがない」とお答えした方にお聞きします。参加（実践）したことがない理由は何ですか。（複数回答可）（N=79人）

選択肢	回答数	構成比
興味がないから	13	16.5%
参加（実践）の仕方が分からないから	17	21.5%
自分に関係があるものがないから	10	12.7%
時間や場所など参加条件が合わないから	31	39.2%
実施していることを知らなかったから	40	50.6%
その他	2	2.5%
無回答	7	8.9%
合計	120	

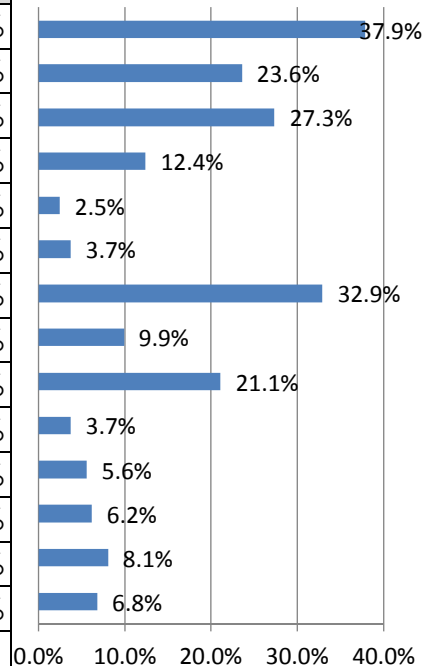


問35. その他の主な意見

- ・いつどこで行われるか知らない。

問36. あなたが鹿児島市で安全性が高い、進んでいると思うのはどれですか。（複数回答可）（N=161人）

選択肢	回答数	構成比
交通安全の取組	61	37.9%
学校の安全の取組	38	23.6%
子どもの安全の取組	44	27.3%
高齢者の安全の取組	20	12.4%
DV防止の取組	4	2.5%
自殺予防の取組	6	3.7%
防災・災害対策の取組	53	32.9%
防犯の取組	16	9.9%
医療や保健に関する取組	34	21.1%
労働の安全の取組	6	3.7%
障害者の安全の取組	9	5.6%
スポーツの安全の取組	10	6.2%
その他	13	8.1%
無回答	11	6.8%
合計	325	



問36. その他の主な意見

- ・比較する対象が無いので分かりません。
- ・まだまだ、すべてにおいて改善しなければならない。



問37. あなたは地域や家庭で事故やけがを予防するためにどのようなことが重要であると思いますか。自由にご記入ください。

(主な意見)

- ・危険なところを整備する。
- ・やはり体を健康に保つことが大切だと思うのでウォーキングしたりして体を動かすこと。
- ・私自身も運転するので交通規則を守り歩行者（特に幼児、高齢者）に気を付け、また自分自身も歩行する時には気を付けて相手の立場にたって行動したいと思う。
- ・子供達に危険を根拠づけて教えていくことが大切。ただ「危ないよ」と説明しても伝わらないので、どうして危ないのか、それをするとどうなってしまうのか等伝えることが大切だと思う。
- ・高齢者の車の運転に対する取り組みが重要。あと、一般的に交通ルールを厳守する人が少ないと感じます。あきらかに赤でも進入することが多く危ないと思っています。
- ・道路の段差をなくすとか夜道を明るくするとか地域の人たちの声掛けだったり知らない人たちの声掛けは戸惑いますが勇気を出して声掛けできるようになりたいです。
- ・地域では危険箇所などの周知を町内会などを通じて積極的に指導してほしい。事故の起こりやすい場所には看板やボランティアの指導などあれば、気を付ける度合いも上がると思います。

問38. あなたが思う「安心安全なまち」とはどのようなまちですか。または、「セーフコミュニティ」について、どのようなことでも構いませんので、自由にご記入ください。

(主な意見)

- ・防犯の取組に力を入れてほしい。先日、若者数人が留守宅に入り貴金属や現金が盗まれた事件が近所であり残念でした。パトロールの強化等お願いしたい。
- ・地域の方々との繋がりがあって安心、安全できると思う。普段から、地域の方とあいさつや声を交わすことで、相手に自分や家族を覚えてもらえる。それによって安心、安全な街が出来ていくのだと思います。
- ・高齢者の独り暮らしの方など、孤立しないように声かけなどする。
- ・安心、安全な街を作るには一人一人の意識向上だと思います。地震などもあって、大変な思いをしているからこそ地域全体で助け合うことが大切だと思う。
- ・セーフコミュニティという言葉自体を知らなかった。もっと詳しく知りたいと思う。
- ・セーフコミュニティの意味が広すぎてコメントしづらい。何の問題に分解してもいいと思う。ただ、「DV防止」と「自殺予防」を「セーフ」と関連付けるのは違うのではないか。意味合いが異なると思う。
- ・地域の人の顔が見えやすい街、声掛けができていいる街。であればあらゆる事故や怪我の予防につながると思います。
- ・犯罪の少ない街、自殺者の少ない街、弱者に優しい街、老人を大事にする街。

#### 【テーマ担当課（安心安全課）からのコメント】

セーフコミュニティについて「知らない」と回答された方が55.3%であり、いまだセーフコミュニティが浸透していない現状から、今後、さらにセーフコミュニティの7分野の取り組みを周知していく必要性を感じました。

また、過去1年間に事故やけがを予防する取り組みに参加（実践）したことがあるかについては、「参加（実践）したことがない」と回答された方が49.1%と高く、その理由については、「実施していることを知らなかったから」が50.6%で、「時間や場所など参加条件が合わないから」が39.2%と高くなっていました。

また、すべての取り組みにおいて、今後参加したい、実践したいと回答された方が、実際に参加（実践）したことがあるとする割合を上回っており、多くの人が事故やけがの予防活動に参加したい、関心をもっているということが分かりました。

以上から、セーフコミュニティの取り組みに多くの人々が参加していただけるよう、知ってもらいたい人に情報が届くような効果的な周知広報を行うとともに時間や場所など参加条件を工夫してまいります。

今回の調査結果を活用して、地域住民、行政、関係団体などが一体となって事故やけがの予防活動に取り組み、本市のさらなる安全性の向上に努めてまいります。

問39. 今回のテーマに限らず、鹿児島市政に対してご意見・ご提言があれば、自由にご記入ください。いただいたご意見・ご提言は所管部局に伝えて、市政運営の参考とさせていただきます。

(主な意見)

・私の住んでいる町内会では、高齢者が多いこともあり、声かけ運動（見守り運動）のようなものがあるようでよいことだと思う。

・セーフコミュニティの重点が7つは少し多い気がするので、もう少しまとめられたらいいのでは？

・教育委員会所管の公民館利用について、長期的な利用をする場合、既定の3～4時間では時間がたりない場合があります。多くの利用者へ便宜を図るということは理解できますが利用状況によっては柔軟に対応してほしいです。

・グリーンツーリズムやセーフコミュニティ、野菜の摂取量、減塩対策等スマホの普及で検索すればすぐに出てくるのに、検索までしようと思わない。行動に移らないのは、興味が無いから。自分の生活に身近に感じていないからだと思います。皆さんが興味を持ってもらえるような広報がんばってください。

・「安全についての取り組み」を実現したいのであれば熊本での地震の影響や鹿児島での地震に備えて川内原発の安全性の確認を鹿児島市としてもぜひ行い必要に応じて働きかけをしてほしい。

・熊本地震を対岸の火事と思わず、自分の身は自分で守る自助の啓発、いざという時に力を差し出せる人がづく対応できる中軸のしっかりとした共助の体制作りが大切だと思います。

・先日の市議選で、鹿児島でも震度4の地震が起きている最中でも選挙カーが走っていました。候補者の方の気持ちは分かりますが、やはり不快でした。選ばれた方々には、思いやりのある市政をお願い致します。

・かごしまマラソンは、職場でも子供の学校でも話題になりましたし、開催日前にマラソンをする姿をたくさんみて、健康づくりにいいイベントだと思います。来年は私も参加してみたいです。